

“アジアとつながる”

めざす姿 「アジアの中で存在感のあるくまもと」

世界の成長センターとしてグローバル経済をけん引していく中国や東南アジアをはじめとする地域とのつながりを積極的に強め、国際的にも通用する人材の育成を図り、アジア市場へ進出することで、地域産業のマーケットや観光誘客を拡大させ、「アジアの中で存在感のあるくまもと」をめざします。

現状と課題

- 県内の多くの中小企業は、貿易等を進めるために必要な人材やノウハウ等が十分ではなく、また、国内とは違う様々なリスクがあるため、海外展開に踏み出せない状況にあります。また、本県の高品質で安全安心な農林水産物や加工品なども、海外市場における認知度が高いとはまだまだ言えません。このため、熊本上海事務所や、今後設立予定の広西事務所等を拠点として、アジアに向けた情報発信や県内中小企業の海外進出への積極的な支援が求められています。
- 人口減少と少子高齢化が進む本県においては、経済成長が続くアジアなど外国からの観光客の誘客促進は、地域経済の活性化を図るうえで不可欠となっています。外国人観光客の大幅な増加が期待される一方、地域間競争が激化しており、アジアなど世界から、観光客や留学生を呼び込むための積極的な情報発信や受入体制の充実が求められています。

「アジアの中で存在感のあるくまもと」 の実現に向けて推進する戦略

戦略5

アクション・アジア

～成長するアジアの市場に打って出ます～

戦略5

アクション・アジア ～成長するアジアの市場に打って出ます～

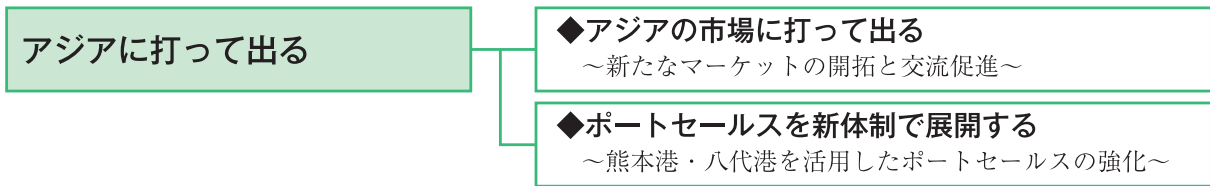
【概要】

これまで交流を重ねてきた中国・広西壮族自治区こうせいそうぞくや韓国・忠清南道ちゅうせいなんどうに加え、上海、香港、シンガポール、台湾などを拠点とし、東アジアのみならず、アセアン*1地域もターゲットにした海外戦略を積極的に展開し、躍動し成長を続けるアジアの活力を取り込みます。

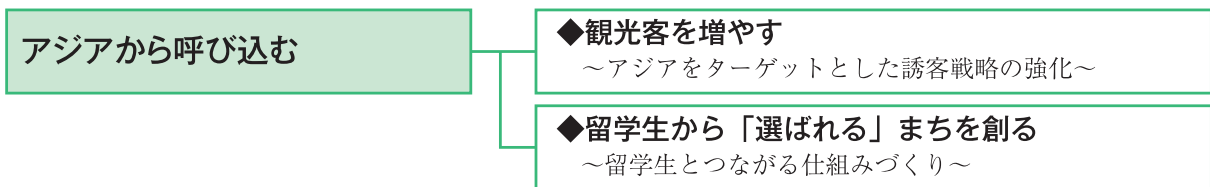
【体系】

戦略5-①

<主な施策>



戦略5-②



〔指標〕	現状値 (H23)	目標 (H27)
・アジア地域への輸出及び進出を行っている県内企業・農業団体等の数	中国 延べ57 アセアン 延べ27 台湾 延べ16	→ 中国 延べ86 アセアン 延べ40 台湾 延べ23
・延べ外国人宿泊者数 〔うちアジアからの延べ外国人宿泊者数〕	33万人/年 (H22) 30万人/年 (H22)	→ 60万人/年 55万人/年
・留学生の数	575人/年	→ 1,000人以上/年

*1 東南アジア諸国連合 (Association of Southeast Asian Nations) の略。インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオスの10カ国が加盟。

“アジアとつながる”

戦略5－① アジアに打って出る

◆アジアの市場に打って出る

～新たなマーケットの開拓と交流促進～

- 本県の海外戦略を総合的に企画・推進する体制を整備し、アジア各国における新たなマーケットや観光需要の開拓に取り組みます。
- 県内企業・農業団体等のアジアに向けた農林水産品輸出や事業展開を後押しするため、香港、シンガポールに加えて、台湾などの新たな拠点へビジネスアドバイザーを配置するなど、相談・支援体制を充実・強化します。
- 熊本市、熊本大学と共同で事務所を設置した上海や、新たに事務所開設をめざす南寧*1を拠点として、中国はもとよりアセアン地域に向け、県産品の販売促進や県内企業の進出支援、観光誘客などを展開します。
- 広西壮族自治区とのさらなる交流拡大に向け、熊本～南寧間のチャーター便就航を実現するとともに、県内企業が安心してビジネス展開ができるよう自治区政府との新たな協定締結をめざします。
- アジア各国の研究者や行政、医療、福祉関係者などが、認知症対策に関する医療や介護をはじめとした様々な分野における“熊本モデル*2”を学べるよう、大学や関係団体と協力して研修体制を整備し、交流を促進します。
- 孫文と厚い信頼関係で結ばれ、辛亥革命に大きな影響を与えた荒尾の宮崎滔天を日中友好のシンボルとしてクローズアップし、その功績を活用して熊本と中国との交流促進につなげます。

◆ポートセールスを新体制で展開する

～熊本港・八代港を活用したポートセールスの強化～

- 本県の物流を促進し産業振興を図るため、推進体制を整備し、八代港や熊本港におけるアジアとの新たな航路開拓など、ポートセールスを積極的に展開します。

*1 広西壮族自治区の首府。

*2 出来る限り身近なところで認知症専門医療を受けることができるよう、本県独自で構築した2層構造(基幹型センター、地域拠点型センター)の認知症疾患医療体制のこと。

戦略5－② アジアから呼び込む

◆観光客を増やす

～アジアをターゲットとした誘客戦略の強化～

- 東アジアをメインターゲットにして誘客を図るため、豊富な温泉やレベルの高い医療、阿蘇の雄大な景観の中でのゴルフなど、熊本の魅力を生かした旅行商品の開発・実施を支援します。
- 海外観光客等の増加に向け、東アジアとの直行便就航やアジアナ航空の週5便化の実現、さらには、天草エアラインの福岡線を活用した海外観光客の誘致や、観光クルーズ船の受け入れ実現に向けた取組みを進めます。
- 海外観光客の満足度を高め、さらなる誘客につなげるため、観光案内板の多言語化を進めるとともに、観光施設などにおいても多言語コールセンター*1を活用した案内ができるよう取り組みます。

◆留学生から「選ばれる」まちを創る

～留学生とつながる仕組みづくり～

- 熊本が留学先として選択されるよう、熊本市、大学などと連携して、住まいのあっせんや生活上の様々な相談支援にとどまらず、県内企業への就職に向けた仲介や交流の場の提供など、様々な支援をワンストップで行う窓口を設置します。
- 熊本市、大学などと連携して、留学生が熊本のファンになるよう「熊本の魅力を伝える講座」の開設を促進するとともに、帰国後も熊本とつながりが保てるよう「留学生ネットワーク」の仕組みづくりを行います。

*1 外国語の通訳を電話により行うサービス。